



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年8月10日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9941 URL <http://www.taiyo-bussan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柏原 滋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部ジェネラル マネージャー (氏名) 宮内 敏雄 TEL 03-5333-8080
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	14,943	△14.2	83	△79.5	22	△93.7	19	△94.0
29年9月期第3四半期	17,420	10.0	406	—	361	—	318	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	14.33	—
29年9月期第3四半期	240.01	—

(注) 平成29年4月1日を効力発生日として普通株式について10株を1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第3四半期	11,227	296	2.6	223.27
29年9月期	12,014	298	2.4	225.03

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 296百万円 29年9月期 298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年9月期の業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	△1.3	260	△35.2	160	△52.5	130	△56.8	97.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	1,328,219株	29年9月期	1,328,219株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	753株	29年9月期	627株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	1,327,513株	29年9月期3Q	1,327,592株

(注) 平成29年4月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を行っており、これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(その他)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、海外での関税等の貿易政策の推移・変化に注意を要するものの、新興国を含む世界経済全体の穏やかな景気回復が続き、国内企業の業況等も好調を維持し、国内消費の回復も穏やかに継続するなかで第3四半期累計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要商材である牛肉につきましては、外食産業向けに順調に販売できたものの、畜肉調製品の販売が低調に推移したことから取扱数量・売上高とも減少し、鶏肉につきましても、ブラジル・タイからの輸入量の増加は落ち着きを取り戻しつつあるものの、国内在庫が依然高水準にあって相場の低迷が続いたことから取扱数量・売上高とも減少しました。加工食品につきましては、タイ産を中心に外食産業向けに堅調に推移し、取扱数量・売上高とも増加しました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は149億43百万円(前年同四半期累計期間比14.2%減)、営業利益83百万円(前年同四半期累計期間比79.5%減)、経常利益22百万円(前年同四半期累計期間比93.7%減)、四半期純利益19百万円(前年同四半期累計期間比94.0%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(食料1部)

牛肉につきましては、外食産業向けに順調に販売できたことから取扱数量・売上高とも増加しましたが、ハム・ソーセージの原材料となる畜肉調製品につきましてもメーカーの方針変更等により低調に推移したことから取扱数量・売上高とも減少しました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、32億88百万円(前年同四半期累計期間比19.5%減)となりました。

(食料2部)

鶏肉につきましては、ブラジル・タイからの輸入量は抑えられつつあるものの、依然国内在庫は高水準な状況にあり、販売価格が低迷する中での営業となったことから取扱数量・売上高とも減少しました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、40億55百万円(前年同四半期累計期間比24.1%減)となりました。

(総合食品部)

畜肉等の加工食品につきましては、タイ産加工食品の外食産業向け販売は堅調に推移し、中国産加工食品につきましても需要が堅調に回復してきていることから、加工食品全体として取扱数量・売上高とも増加しました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、25億46百万円(前年同四半期累計期間比10.3%増)となりました。

(営業開拓部)

中国向け車輛部品・エンジンにつきましては、日本製への信頼から根強い需要があり、引き合いも順調であったもののメーカー側での供給調整があったことから、取扱数量・売上高とも横ばいとなりました。農産品につきましては、緑豆等の販売は順調に推移したものの大豆は価格が低迷していること、玄蕎麦も顧客であるメーカーの需要が細まっていることから取扱数量・売上高とも減少しました。化学品につきましては、輸出版路も安定し、韓国向けスマートフォン用塗料、その他海外向け塗料原料など順調に推移しておりましたが、メーカーの定期修繕等による生産調整の期間があったことから取扱数量・売上高とも微増となりました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、31億67百万円(前年同四半期累計期間比5.4%減)となりました。

(生活産業部)

豚肉及び加工食品につきましては、加工食品ではコンビニ向けの韓国産のフランクフルトソーセージやメキシコ産のスライスカット豚肉等の販売が順調に推移したものの、スペイン産豚肉の輸入につきましては、中国の需要の増加で日本向けの生産が遅延したことや、輸送コンテナ不足等の影響により、取扱数量・売上高とも減少しました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、18億84百万円(前年同四半期累計期間比19.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期累計期間末の資産につきましては、主に売掛債権及び商品の減少等により前事業年度末に比べ7億87百万円減少し、112億27百万円となりました。

負債につきましては仕入債務の減少、借入金の返済等により、前事業年度末に比べ7億85百万円減少し、109億30百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の増加及び繰延ヘッジ損益の減少等により前事業年度末に比べ2百万円減少し2億96百万円となりました。自己資本比率は2.6%となり、前事業年度末に比べ0.2%増加しております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年11月14日公表の「平成29年9月 決算短信[日本基準](非連結)」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,175,029	3,201,614
受取手形及び売掛金	4,548,265	3,894,491
商品及び製品	4,195,873	3,335,345
その他	426,979	131,534
貸倒引当金	△3,377	△2,751
流動資産合計	11,342,769	10,560,234
固定資産		
有形固定資産	293,014	287,823
無形固定資産	18,789	25,377
投資その他の資産		
その他	360,376	353,628
投資その他の資産合計	360,376	353,628
固定資産合計	672,179	666,829
資産合計	12,014,949	11,227,064
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,853,872	1,834,061
短期借入金	8,647,619	8,267,447
未払費用	640,633	454,423
その他	379,586	172,708
流動負債合計	11,521,713	10,728,641
固定負債		
退職給付引当金	142,431	151,568
その他	52,047	50,467
固定負債合計	194,479	202,035
負債合計	11,716,192	10,930,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,344,975	1,344,975
資本剰余金	1,306,916	1,306,916
利益剰余金	△2,383,657	△2,364,630
自己株式	△852	△969
株主資本合計	267,382	286,292
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	135	—
繰延ヘッジ損益	31,238	10,095
評価・換算差額等合計	31,374	10,095
純資産合計	298,756	296,387
負債純資産合計	12,014,949	11,227,064

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	17,420,959	14,943,127
売上原価	16,529,550	14,404,443
売上総利益	891,409	538,683
販売費及び一般管理費	485,022	455,504
営業利益	406,387	83,178
営業外収益		
受取利息	1,117	118
受取配当金	73	69
為替差益	12,730	—
受取賃貸料	9,164	8,809
還付消費税等	18	—
投資事業組合運用益	4,119	872
その他	4,567	2,064
営業外収益合計	31,791	11,934
営業外費用		
支払利息	65,468	62,403
為替差損	—	1,029
その他	11,383	8,919
営業外費用合計	76,851	72,352
経常利益	361,327	22,760
税引前四半期純利益	361,327	22,760
法人税、住民税及び事業税	44,931	4,786
法人税等調整額	△2,245	△1,052
法人税等合計	42,686	3,733
四半期純利益	318,640	19,026

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料1部	食料2部	総合食品部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	4,087,448	5,347,311	2,307,318	3,350,973	2,327,906	—	17,420,959
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,087,448	5,347,311	2,307,318	3,350,973	2,327,906	—	17,420,959
セグメント利益又は損失(△)	67,361	404,897	52,495	40,536	△13,621	△145,281	406,387

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△145,281千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料1部	食料2部	総合食品部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	3,288,975	4,055,832	2,546,096	3,167,276	1,884,946	—	14,943,127
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,288,975	4,055,832	2,546,096	3,167,276	1,884,946	—	14,943,127
セグメント利益又は損失(△)	135,755	△49,915	121,741	60,648	△21,629	△163,421	83,178

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△163,421千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(その他)

該当事項はありません。